

今回は、2002年4月から助産師として西アフリカのコートジボアール(\*1)に派遣された田中由美子さん(苫小牧市出身)による帰国後談です。

田中さんはコートジボアールでクーデターが起きたため日本に一旦帰国しましたが、その後2003年4月からマダガスカルに再派遣。帰国直前には現地マジンガに大型サイクロンが上陸、死傷者を出し多くの家屋を破壊し、最後には竜巻が職場付近を通過するという災難続きでしたが任期を全うし無事帰国されました。

# 青年海外協力隊員 帰国後談

～アフリカで感じた、ことば、ひと、文化、価値観、自然…～

青年海外協力隊OG 田中 由美子

コートジボアール共和国

マダガスカル共和国

ああ、この人もだ。満面の笑みを浮かべている女性を前に、私は急いで仏語の通訳を探す。相手の言動が分からない時は笑って誤魔化す。これが世界共通の行動と私が悟ったのは、赴任してすぐである。

西アフリカ・コートジボアール。国土は日本の0.9倍、60の部族がいる。それぞれが部族語を話すため共通語としての公用語には仏語の他、ジュラ語という現地語が使われている。だが、地方、特に女性の多くは教育を受けられずに大人になった。仏語はもとよりジュラ語も話せないという人は珍しくない。部族語も含め、通訳を探すのは私の日常業務の一つだった。

私の任地は主要都市アビジャンから270km、土壁の家が点在する人口6千人ほどの村。この村を中心に近隣60の集落を診ている助産所が私の職場だった。現地の助産師2名、助手2名が同僚。私の仕事は午前中のみ。火、金は妊婦健診、木は予防接種、残る2日は暇なので、同僚相手に折り紙教室を開いていた。妊婦さんは月1度健診に来る。日本と同じ内容で、母子手帳もある。薬の処方も助産師の仕事。

マラリア汚染地域の国ではニバキン(\*2)の処方は欠かせない。避妊指導もするし、必要に応じて町の医者へ紹介状も書く。お産の介助は助手の仕事。彼女達は無資格だが助産の講習は受けており、



助産所で検診を待つ母子

現地ではマトロンと呼ばれ各村々に1人はいる。彼女達では対応しきれないお産が、助産師の所に来るとというのがこの辺りの習慣だった。

毎日が新鮮で驚きの連続。そこら中にびつくり箱が転がっている。

産まれたばかりの子供の肌は白く、成長するにつれ少し

ずつ変化していく。その不思議な事実を知ると、元々人間には人種など無かったのだろうと実感する。しかし、肌の色に対する彼らの傷は深い。日本にも黒人はいるのか。黒人と結婚する日本人はいるのか。偏見はないのか。そして最後に聞く、「君はどうなの？」

アフリカ大陸の片隅で1人、人種について、自分について考える。彼らはここに来てくれてありがとう、と言ってくれる。でも、私が1人でもここで生きていけるのは彼らがいるからだ。

貧しくても優しく、豊かな人達。肌の色が違う、文化、価値観が違うという当たり前のことを理解するのが実は一番難しい。そう気が付かせてくれた彼らと出会えた私は幸せなのだろう。

残念ながらその幸せは続かなかった。赴任して5ヶ月、突然起きたクーデターのため、私達は志半ばで帰国した。

その後、マダガスカルに再派遣となり今年4月、私は元気に日本の土を踏んだ。

しかし、コートジボアールへの青年海外協力隊員派遣は現在も中断されたままだ。

\*1: フランス語で「象牙海岸」の意

\*2: マラリアの予防薬であるクロロキンの商品名



市場の様子

## 学校関係者の方々へ

～開発教育・国際理解教育関連のJICAイベントについて～

### ①平成16年度教師海外研修参加者募集中!

北海道内の小中高校教師を対象にした教師海外研修参加者を現在募集中です(応募用紙**JICA必着9月22日**)。北海道地域からの研修参加者は、平成17年1月5日～15日成田発着によるエジプトへの派遣となります。

募集要項については既に道内の小中高校宛に発出済ですがJICA札幌及びJICA帯広にも若干の余部がありますので必要な場合はお尋ねください。

なおJICA札幌ホームページでも案内をいたしております。

<http://www.jica.go.jp/branch/hics/jigyot/teacher/index.html>を参照ください。

なお、当海外研修参加者は右欄②でお知らせの開発教育指導者研修への参加が求められていますのでご注意ください。



平成15年度教師海外研修の様子(フィジー派遣の先生が現地市役所を訪問)

### ②平成16年度開発教育指導者研修の実施について

開発教育の参加型ワークショップの紹介、青年海外協力隊OB等との意見交換会等を行い、教員の方々や地域NGOの合同参加による当研修はJICA札幌で平成13年度に初めて開催され例年好評を得ております。(研修の様子はJICA札幌ホームページ<http://www.jica.go.jp/branch/hics/jigyot/shido/usha.html>でご覧頂けます)

本年度は(1)平成16年12月26日～27日、(2)平成17年2月26日の2回シリーズでの開催を予定しております。9月下旬を目途に募集要項を関係教育局等を通じてお届けする予定ですので皆様のご参加をお待ちしております。



平成15年度開発教育指導者研修での様子(参加型学習「貿易ゲーム」の振り返りをグループ毎に発表)

JICA札幌 / 〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号 TEL:011-866-8333 [www.jica.go.jp/branch/hics](http://www.jica.go.jp/branch/hics)  
JICA帯広 / 〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1番地2 TEL:0155-35-1210 [www.jica.go.jp/branch/hico](http://www.jica.go.jp/branch/hico)